

そろばん 頑張りました



全国や東北の大会で好成績を残した遠藤詩歩さん(右)と長瀬陽愛さん(左)。中央は2人を指導する武田芳子師範

天童市

遠藤さん(天童南部小 6年)

英語読み上げ算全国4位

長瀬さん(山形九小 1年)

東北カップで個人総合優勝

天童

天童市の「平藤そろばん・あきさん教室」に通う2人の「スーパー小学生」が、全国や東北の大会で上位成績の結果を残した。天童南部小6年の遠藤詩歩さん(12)は、国内最大規模の競技大会「クリスマスカップ」(昨年12月25日)の英語読み上げ算で4位に入り、県内初

に入賞。両大会を終えて、「いつも通りにはできなかった。次はもう少し上を目指したい」と向上心を口にした。

一方、長瀬さんは珠算二段、暗算四段を有する。東北カップでは上級生の2年生を抑えての個人総合優勝

となつた。同大会の種目別でもフラッシュ暗算、割り算で2冠を獲得した。長瀬さんは「数がいっぱい解けた。1位を取れてうれしい」と冷静に喜びを語った。教

え子の過去最高成績に、武田芳子師範は「2人とともに頑張りました。今後、もっと張り屋なので、今後も楽しみにしている」と目を細めていた。(進藤和美)

大海原の旅が待っている 三泉小、溝延小(河北)児童、サケ放流



寒河江

寒河江市三泉小(阿部仁志校長)と溝延小(渋谷常浩校長)の4年生と、最上川第一漁業協同組合(大場

一昭組合長)が4日、同市の寒河江川にサケの稚魚を放流した。子どもたちは全長5センチの小さな姿に「頑張つてね」と声を掛け、成長と回帰を願った。

溝延小児童は11人が参加し、同様に約千匹を放流。同漁協も含め、この日は計約30万匹を放した。(黒田良太)

遠藤さんは珠算八段、暗算七段の実力。全国規模で能力を競うクリスマスカップでは、過去にも好成績を残してきた。今大会はそれを上回る上位入賞を目標に臨んで、結果を出した。続く東北カップでも小学5・6年生の部の見取り算進優勝、フラッシュ暗算で3位

川第一漁業協同組合(大場

ワイド地域

- 酒田支社 02234(2)21580
- 鶴岡支社 02235(2)2810
- 新庄支社 02233(2)3580
- 尾花沢支社 02237(2)0165
- 村山支社 02237(5)2532
- 東根支社 02237(4)3333
- 寒河江支社 02237(8)4241

地域の情報をお寄せください

命の尊さと地元の素晴らしさを学び、川に親しむのが狙い。放流は三泉小児童が午前、溝延小児童が午後

に実施した。

三泉小児童は9人が長靴姿で寒河江川橋付近の水辺に行き、約千匹の稚魚をバケツから慎重に放した。水中で元気に躍る魚体に「バイバーイ」の声も掛かった。同漁協によると、サケが戻ってくるのは約4年後。西尾嶺君(9)は「立派になって戻ってきてほしい」、柴田望さん(10)は「両手を広げたぐらいに大きくなって」と願いを語った。

黒田良太